令和２年（2020年）３月９日

令和元年度特別支援連携協議会　概要

北海道教育庁胆振教育局義務教育指導班

令和２年２月６日（木）に、むろらん広域センタービルを会場として、令和元年度特別支援連携協議会を開催しました。

本協議会では、事務局から「令和元年度特別支援教育の推進」について報告するとともに、「令和元年度発達障がい支援成果普及事業」の推進地域から取組内容を話題提供していただきました。その後、各機関における今年度の取組内容及び次年度の方向性について協議を行いました。

連携協議会テーマ

胆振で学ぶこと、働くことに向けた切れ目のない一貫した支援の充実

話題提供「個別の教育支援計画を活用し、関係機関と連携して支援を行った事例」

発達障がい支援成果普及事業の推進地域の白老町の取組内容について、話題提供していただきました。

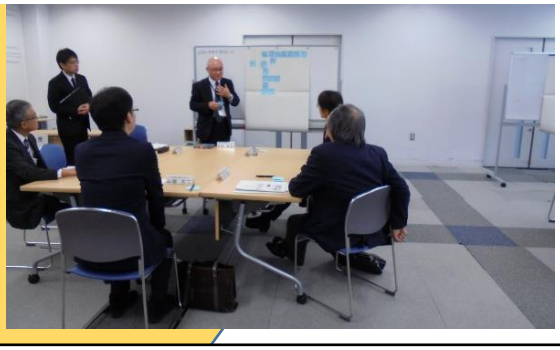
白老町健康福祉課福祉支援グループ　山越　大二　社会福祉士

【主な取組内容】
- ○　支援ファイル「みらいすけっち」作成の経緯
- ○　白老町地域自立支援協議会の取組による役割分担
- ○　障がい児等支援連絡体制整備事業による効果的な引継ぎ方法

【成果と課題】（成果：○　課題：●）
- ○　学校、保護者への情報提供
- ○　活用の具体例の周知
- ○　ファイル作りの負担感の軽減
- ●　学校、家庭への適切な周知方法の検討

協議「各学校や地域における切れ目のない一貫した支援の充実」

各学校や地域における切れ目のない一貫した支援の充実に向けて、「個別の教育支援計画（連携のための支援ファイル）」作成の課題、作成を進めるためのアイデアについて、グループ協議を行いました。



【協議における意見・アイデア】
- ○　個別の教育支援計画作成に係り、書き方が分からない保護者や教員を対象とした研修を充実させる必要がある。
- ○　就労している本人や保護者に、支援ファイルがあってよかったことを聞いたり、就労先で有効活用されている場面を、私たちが知り、保護者に周知するとよいのではないか。　等

令和2年度　胆振管内教育推進の重点(案)

○　特別支援教育の充実

必要な児童生徒に個別の教育支援計画を作成し、ニーズに応じた指導・支援を行います。

（北海道教育推進計画目標1･3関連）

【まとめ】
- ○　特別支援連携協議会において、実際に学校卒業後の就労先の見学と、就労先で働いている方から話を聞く取組を行う。
- ○　本日の意見を次年度の特別支援教育の重点作成に向けて生かす。